



市史編さん活動日誌から④

最近は、電話が発達したので、手紙を書くことが少なくなったようである。それにしても、昔から手紙は、いろいろな連絡や考え方や心情を訴えるためにしばしば使われた歴史上の人物についても

出征兵士たちの手紙

池田敬正（京都府立大学教授）

公の文章では知ることができない人柄を、そうした手紙を通じて知ることは多い。豊臣秀吉の遺言書が子どもの秀頼を想う心情が、溢れていて有名であり、しゃべり言葉をうまく使って書いた坂本龍馬の手紙は天下一品であります。さらには宮本顕治

と百合子の「十二年の手紙」は、戦時下の知性を反映していた。こうした有名人だけではなく庶民の手紙も、その時代の雰囲気を知るために、戦争で家族や故郷から引離された兵士たちの手紙が、比較的多く残されていいる。

上植野の区有文書のかにも、日露戦争に出征した兵士たちの手紙が、かなり保存されていた。手紙が四十四通、ハガキが四十三通、封緘ハガキが八通あって、合計で九十五通ある。これらの手紙が区に残されたのは、それが家族宛のものでない。区長や区の事務所あるいは青年夜学会や専修校の手紙は、いろいろな連絡や考え方や心情を訴えるためにしばしば使われた歴史上の人物についても

まさに年金が受けられなくなることがありますので、ご注意ください。

建設省では、12月1日に全国にわたって「昭和58年住宅需要実態調査」を行います。この調査は全国の家庭のみさんが、住宅についてどのようにお考えになります。この調査は全日本の家庭のみなさんが、住宅についてどのようなお考えにになっているか、また、住宅の改善についてどのような計画をお持ちになつてあるかなどを伺うもので、国や地方自治体の住宅対策を進めるうえでの重要な資料となるものです。

本市では、約200世帯に調査をお願いする予定です。11月24日から12月7日までの間に調査員が伺いますのでよろしくお願いします。

向日市まつりで「がらくた市」に行います。みんなのこ家庭の物置や押し入れの中に埋もれてしまっているがくらた・不用品などを提供していただきたいと思います。

なお、この売上げ金は社会福祉協議会へ寄付します。

けませんか。ご連絡いただければ11月18日（金）までに、こちらから取りに寄せていただきます。

用品などを提供していただけます。

ぜひ、ご協力ください。

向日市まつりで「がらくた市」に行います。

みなさんのこ家庭の物置や押し入れの中に埋もれて

しまっているがくらた・不用品などを提供していただけます。

ぜひ、ご協力ください。

向日市まつりで「がらくた市」に行います。

みなさんのこ家庭の物置や押し入れの中に埋も